

# 少年センター 平成30年度活動方針

## 1. 少年センター 運営テーマ

インターネット犯罪に巻き込まれないために  
(平成29年度 少年センター運営協議会により策定)

## 2. 教育センター（少年センター）課目標 補導活動の充実（ネットパトロールを含む）

1

## 1. 少年センター 運営テーマ

インターネット犯罪に巻き込まれないために  
(平成29年度 少年センター運営協議会により策定)

(1) 現状

(2) インターネット犯罪に巻き込まれないための活動

- ①インターネットトラブル防止出張授業・研修
- ②ネットパトロール

2

# インターネットをめぐる トラブルの現状

- \* インターネットの普及に伴い、子どもたちの問題が潜在化している。
- \* ソーシャルネットワークサービス（SNS）を利用して犯罪に巻き込まれた子供たちの人数（1700人）は過去最高になった。

（警察庁H20～）

3

## 千葉県のネットパトロールにおける 「危険度」と「内容」

項目	危険度	内容
<1>	レベル1	自分自身の個人情報の公開（氏名・学校名・顔写真）
<2>	レベル2*	自分自身の詳細な個人情報の公開
<3>	レベル2*	他人の個人情報の公開
<4>	レベル2*	個人を特定した誹謗・中傷
<5>	レベル2*	自傷行為（自殺予告等）
<6>	レベル2*	暴力・問題行動（飲酒・喫煙等）
<7>	レベル2*	わいせつ表現（写真等）
<8>	レベル3*	少年の刑事事件、自殺に係るもの等

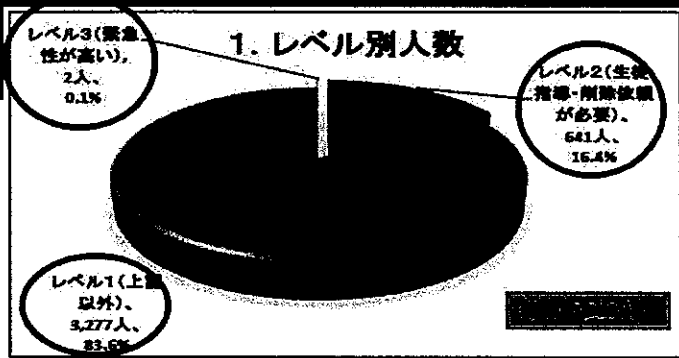
・ 3段階で設定。

・ レベル2とレベル3について、「特に問題のある書き込み」とし、対象の児童生徒がいる市町村教育委員会などに情報提供している。

\*レベル2と3を「特に問題のある書き込み」としている。

4

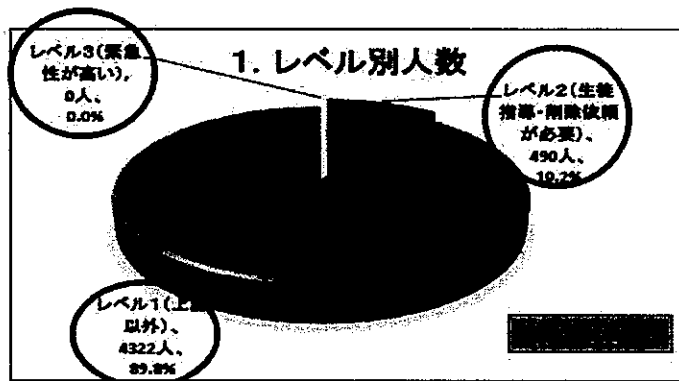
# 平成28年度～平成29年度 実施状況比較① (レベル別)



→ 増加傾向にある。

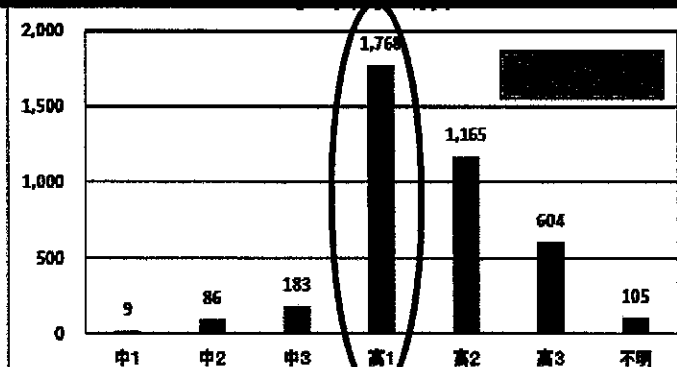
- レベル1  
→ 一番多い。
- レベル2  
→ 増減はあるが、毎年500人前後。
- レベル3  
→ 年々減少し、H29年度はゼロになった。

H29



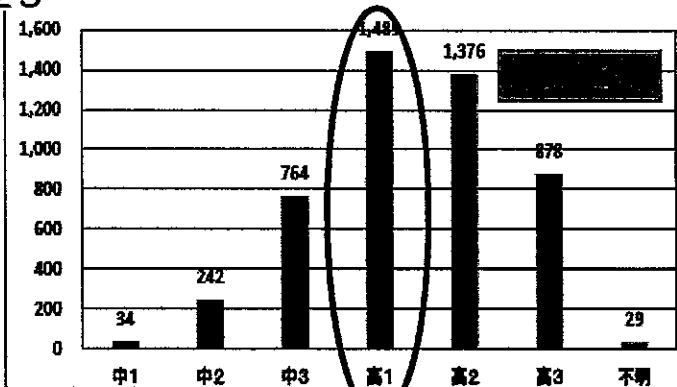
5

# 平成28年度～平成29年度 実施状況比較② (年齢別)



- 年齢、学年が上がるにつれて増え、高校1・2年生をピークに減少していく。

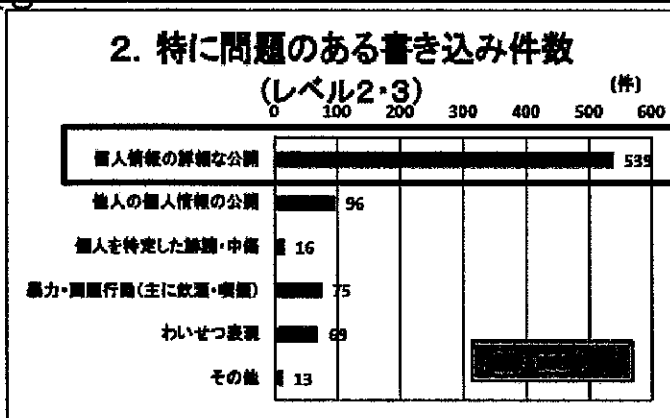
H29



- 高校1年生が多い。平成27年度と29年度は、中学3年生から約2倍に増加している。

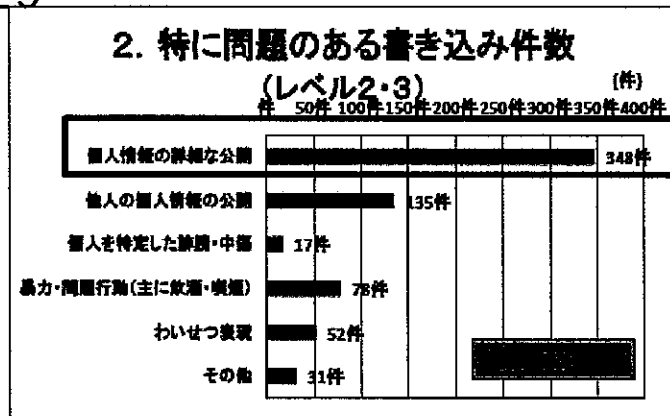
6

# 平成27年度～平成29年度 実施状況比較③ (内容別)



- 「個人情報の詳細な公開」が一番多い。

H29

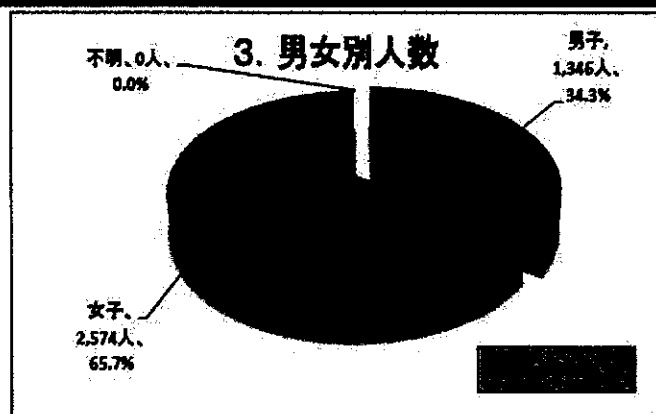


- 次いで「他人の個人情報の公開」。

- 3つ目に「暴力、問題行動(主に飲酒・喫煙)」。

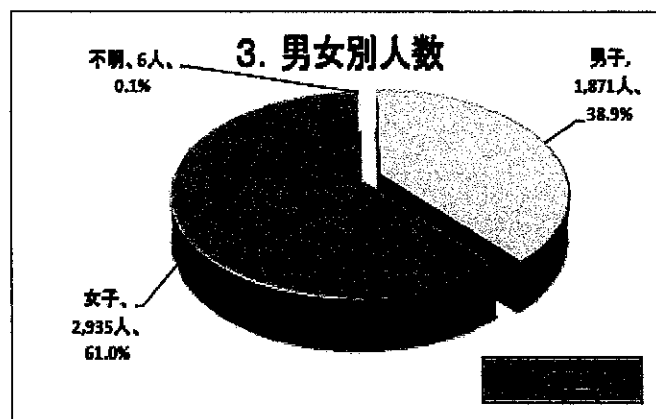
7

# 平成27年度～平成29年度 実施状況比較④ (男女別)



- 全体の約60%が 女子生徒である。

H29



- 男子生徒の割合が 年々増加している。

8

# インターネット犯罪に巻き込まれないための活動① ～啓発的活動～

## ネットトラブル防止出張授業・研修

①児童生徒向け授業…45分～50分

②保護者・地域の方々向け…30分～40分

③教職員向け…45分～50分

9

## 実施目的

インターネットトラブルから  
子供たちを守りたい！

### ↓児童生徒

- ①SNSに関する正しい知識を伝える。
- ②日常生活でダメなことはネットの世界でもダメであることを伝える。

### ↓保護者

- ①SNSに関する正しい知識を伝える。
- ②実際のトラブルの例を伝える。
- ③子供に持たせる際のルールや保護者としての責任を伝える。

10

# ネットトラブル防止出張授業・研修の実際



11



自分の考えや大事なことを  
ワークシートに記入する。

インターネットの3つの特性  
公開される、広がる、記録される  
について、実際の事例をもとに  
考えていく「授業形式」を実践。

12

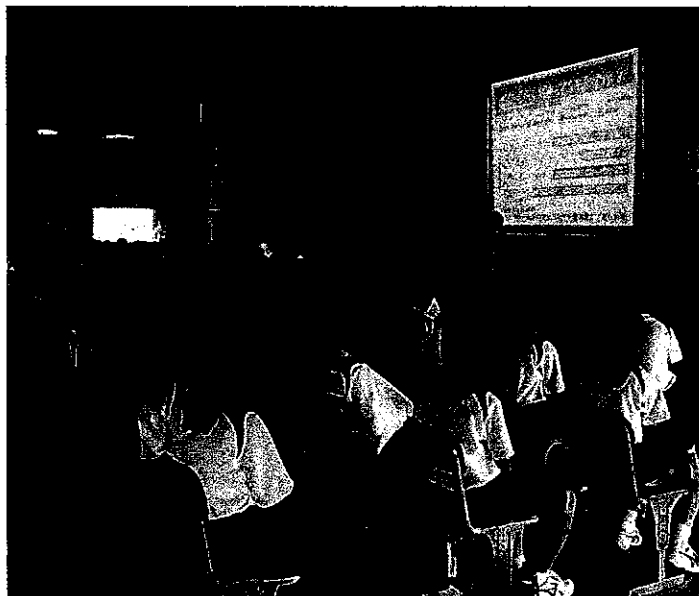
## 実施の学校

<7月までの実施校>

7月17日(火) … 柏井小学校 (4・5・6年生)

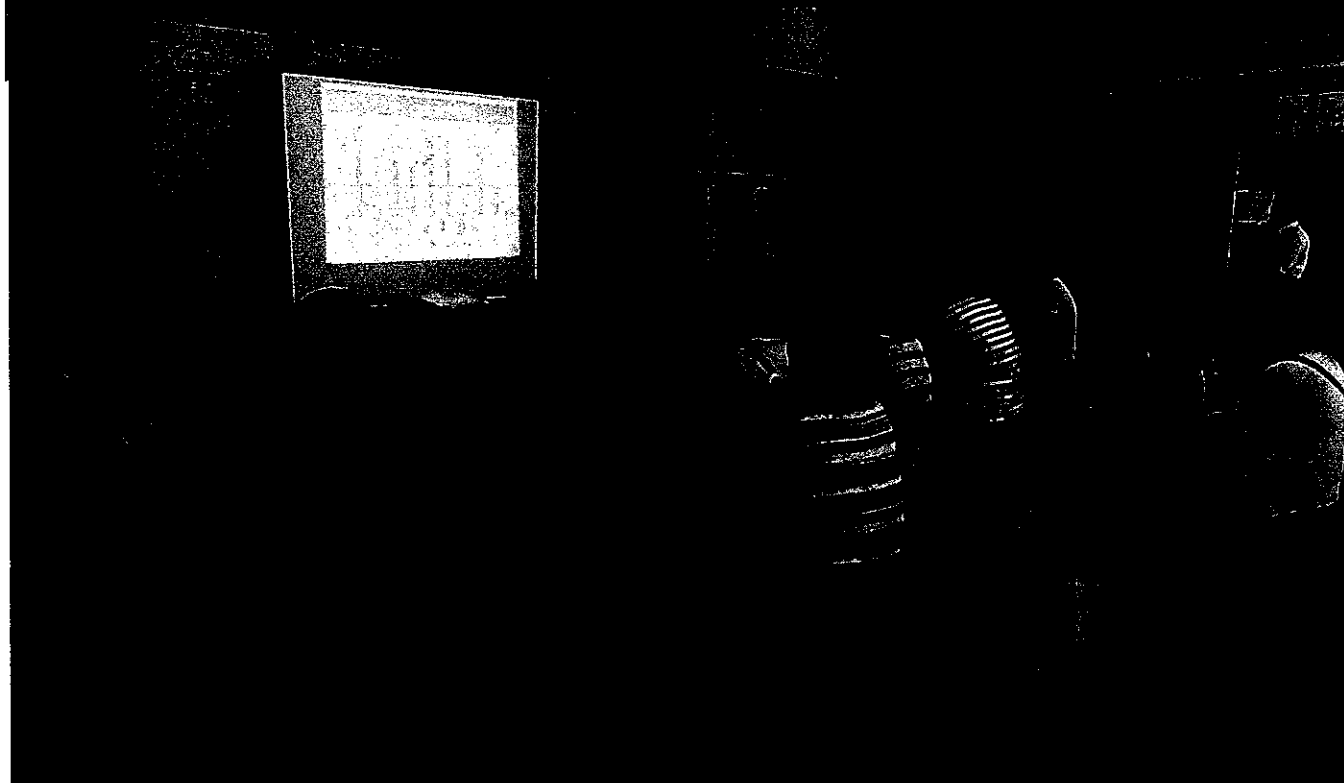
7月18日(水) … 新井小学校 (4年生+4年生保護者+他学年の保護者)

7月20日(金) … 第八中学校 (全生徒)



13

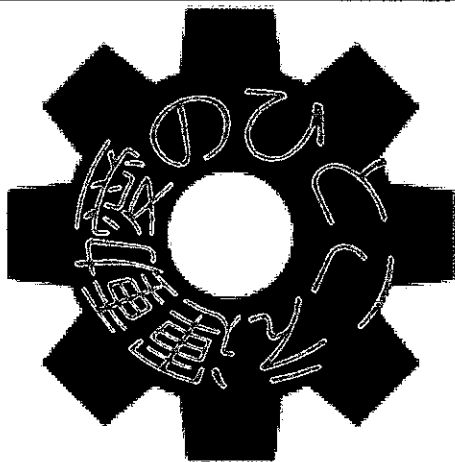
保護者向けの研修の実践 (25分程度)  
～新井小学校・家庭教育学級～



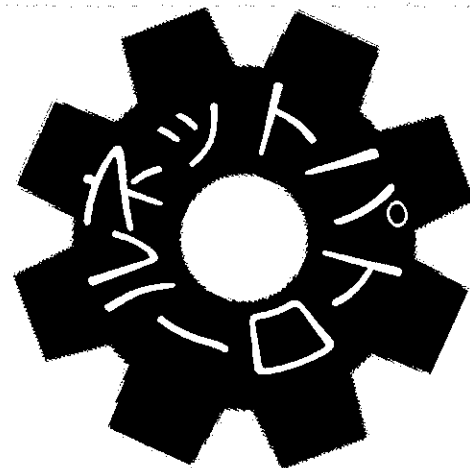
14

2. 学校教育部 教育センター 課目標  
補導活動の充実（ネットパトロールを含む）

街頭補導の充実  
愛のひとこえ運動



サイバー補導の充実  
ネットパトロール



15

インターネット犯罪に巻き込まれないための活動②  
～監視的活動～

## ネットパトロール

- ①対象…市内小、中、高、特別支援学校の児童生徒
- ②少年センター職員によるネットパトロール  
(H29年.6月より実施)
- ③補導員によるネットパトロール  
(H30年.9月より実施)

16



# 市川市少年センターの該当校への連絡レベル

<問題のある書き込み監視区分（危険度・内容）>

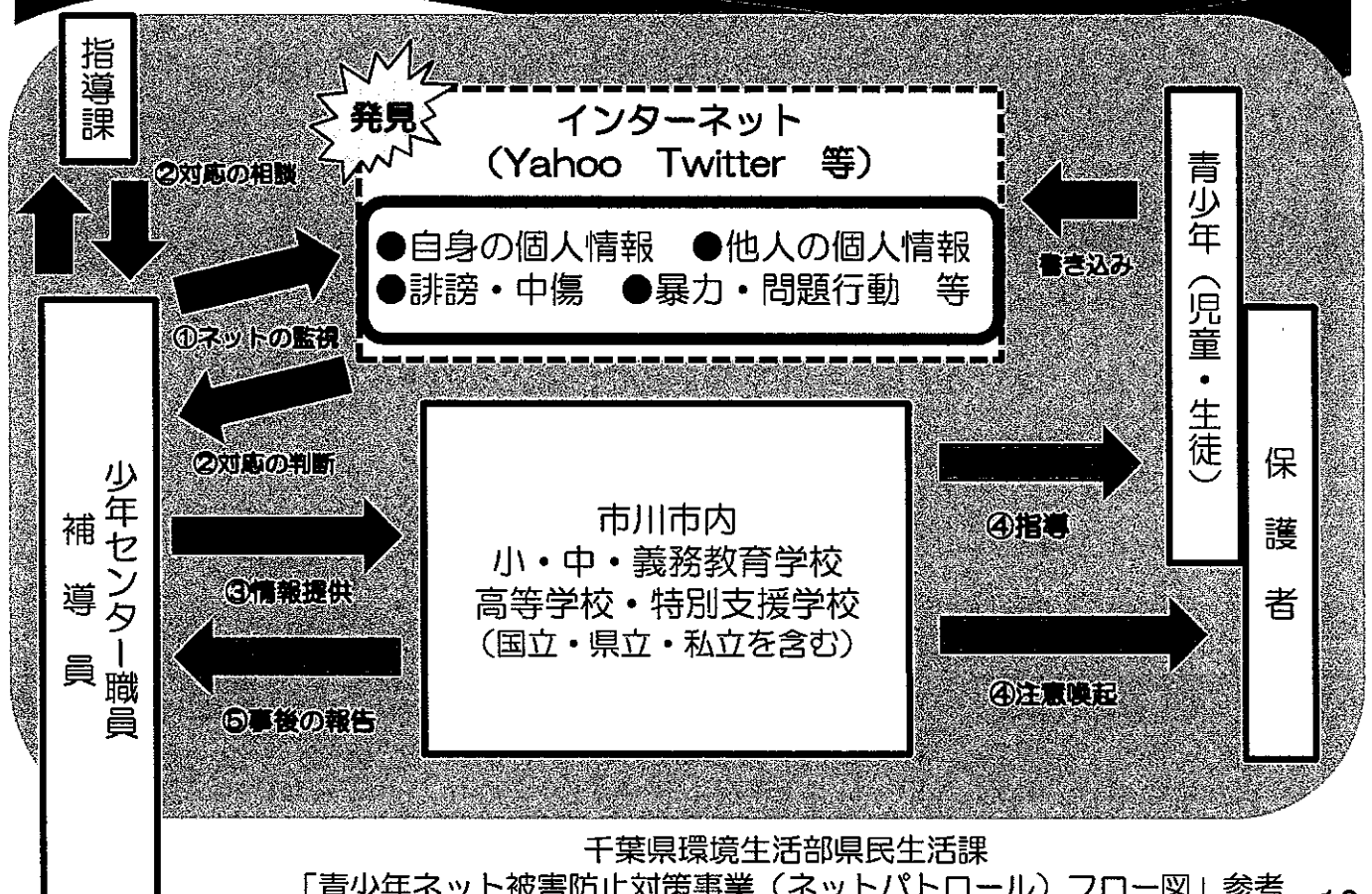
	危険度	内容
①	レベル1	自分自身の個人情報の公開（氏名・学校名・顔写真）
②	レベル2	自分自身の詳細な個人情報の公開
③		他人の個人情報の公開
④		個人を特定した誹謗・中傷
⑤		自傷行為（自殺予告等）
⑥		暴力・問題行動（飲酒・喫煙等）
⑦		わいせつ表現（写真等）
⑧	レベル3	少年の刑事事件、自殺に係るもの等



※レベル2及びレベル3の書き込みを「特に問題のある書き込み」とする。

17

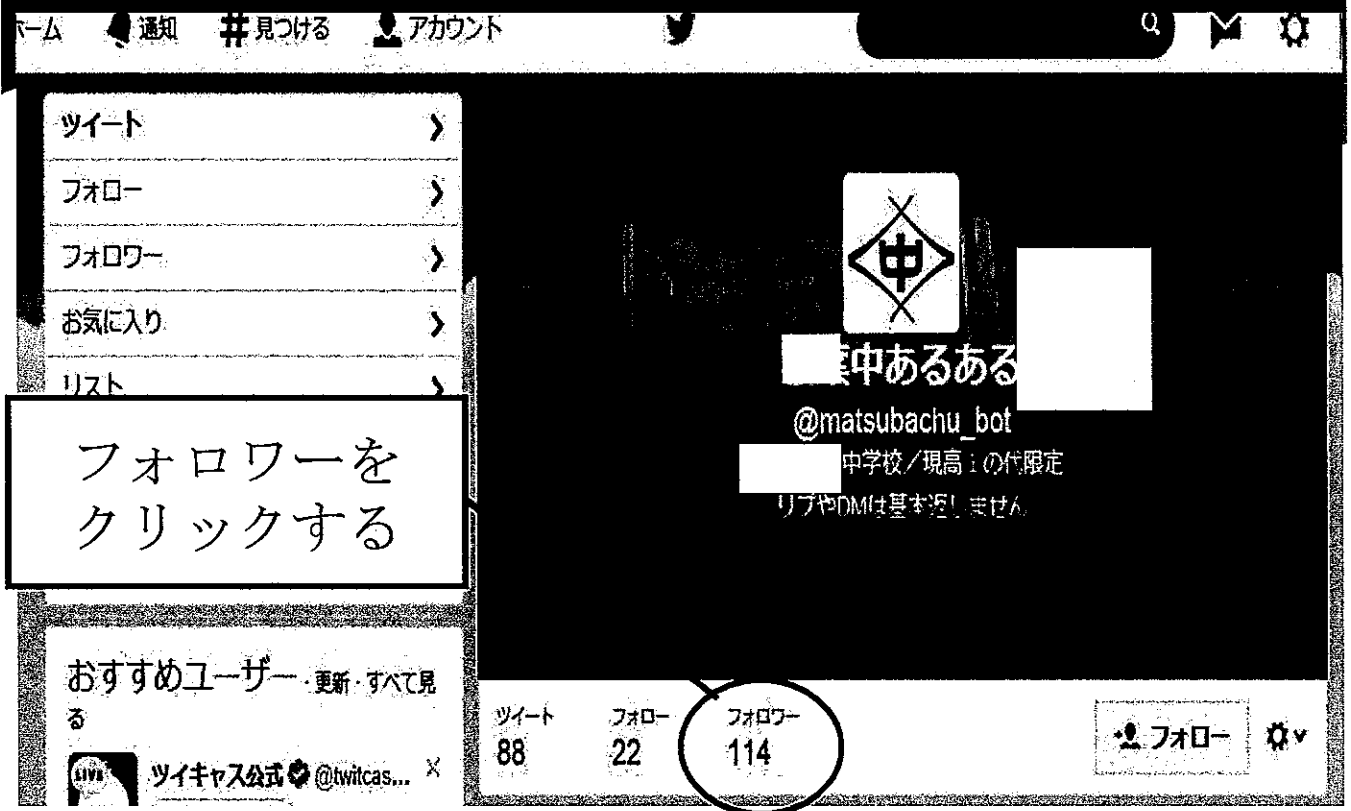
## 市川市少年センター「ネットパトロール」フロー図



千葉県環境生活部県民生活課  
「青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）フロー図」参考

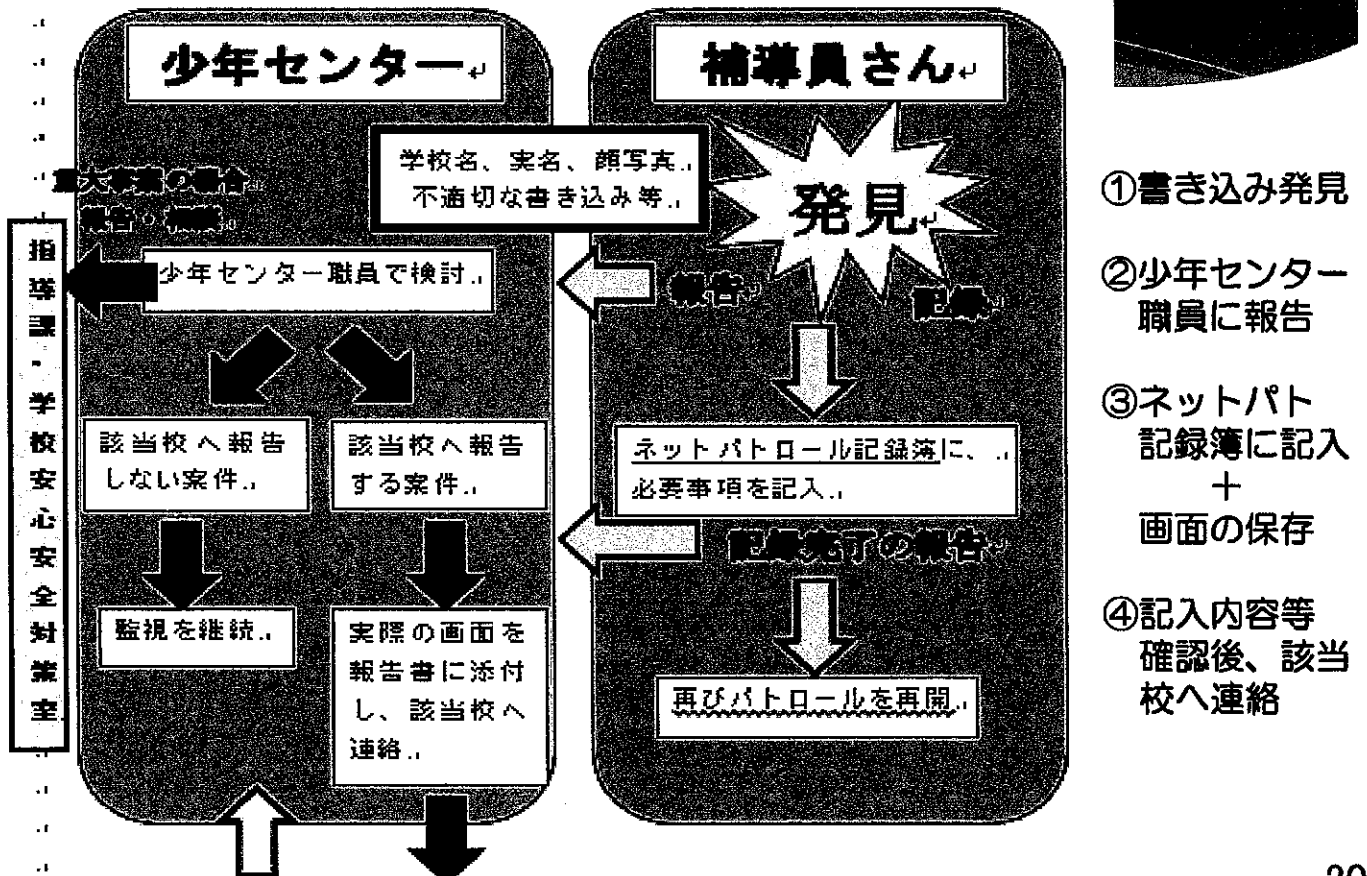
18

# パトロール対象は「Twitter」の「フォロワー」



19

## 補導員との連携フロー図



20

インターネットトラブル防止  
出張授業・研修を積極的に行う

補導活動（ネットパトロールを含む）  
の充実を図る



市川市の児童生徒たちを  
守っていく！

